

帰宅困難者らの 支援体制確立へ

大成ロテック、全国で
大規模災害対策訓練

大成ロテックは、全国の拠点で11月14日に「大規模災害対策訓練」を行った。2025年度のテーマは「帰宅困難者等の支援体制確立」。各事業所がそれぞれ最も被害が甚大となる災害が発生したと想定し、帰宅困難者などに関する情報収集や、一時滞留する役割

員の宿泊スペースの社内確保で、指示や報告の手順などを確認した。同社とグループ会社の社員1671人が参加した「写真」（大成ロテック提供）。

東京都新宿区の本社では全社員に配布している防災キットを新しいものに交換した。防災食品の使用方法や味を体験するため、備蓄用防災食品の一部を社員に配布。昨年全社に導入した非常用通信機器を使用した本支社間での通信訓練、従業員の安否確認訓練や外部



有識者による防災セミナーなども実施した。

訓練後、加賀田健司社長は「大規模災害が発生した時、特に大都市では相当な数の帰宅困難者が出ると予想される。訓練で認識した課題を検討し、社員の命をいかに守るかを念頭に置き、日頃からしっかりとシミュレーションしてほしい。レジリエンスな社会づくりを目指し、今回の訓練をいい形で役立ててほしい」と総括した。

